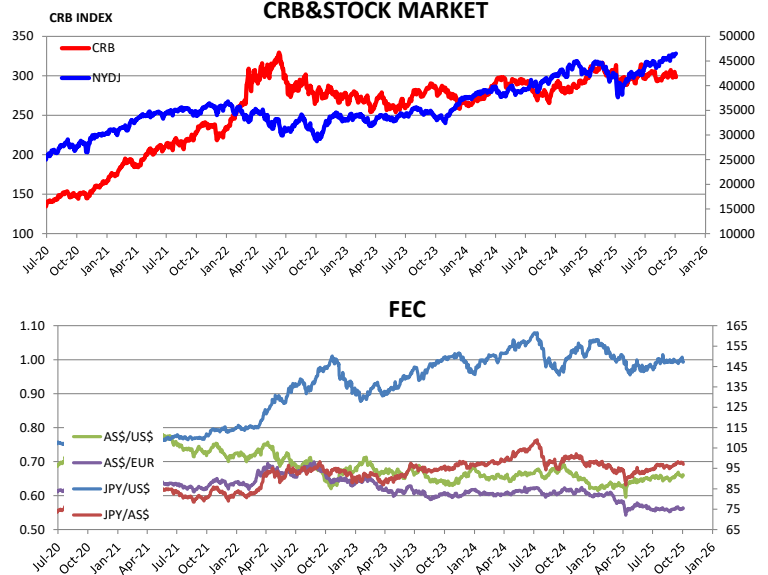
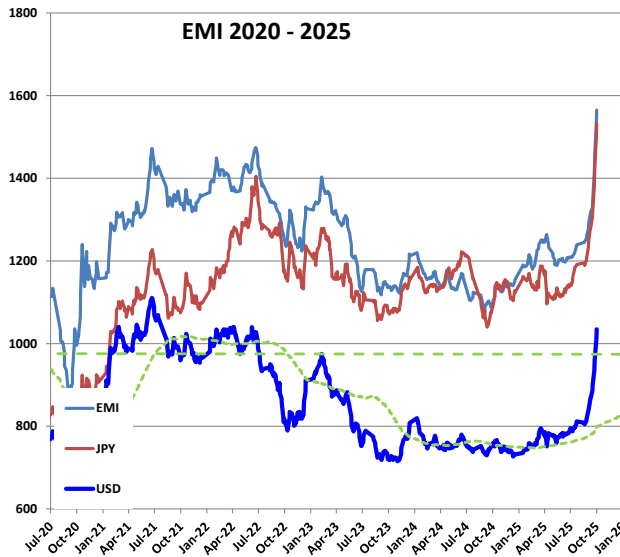


Motohiro Weekly Market Report

3-Oct-25

SALE WEEK

14



COMMENTS

A staggering result at this week Australian wool auctions. It was an extraordinary week for the wool market with unprecedented increases in price across the broad spectrum of types. We noted the finest microns were those again in the greatest demand and in particular, the better quality certified clips. To put the recent price rises in perspective, since the start of July, the EMI has gained 30%.

The trading companies competed aggressively from the outset of the auction, and this continued until the close. The first stage manufacturers were showing interest but couldn't counter the aggressive actions of the traders locking in supply for their clients.

Buyer exporters had reported new sales at levels near market had been written pre-sale, indicative of an immediate demand that had not yet been satisfied. From the start of auction selling it was clear that this market had plenty of upside left as bidding was as fierce as any seen for decades. For sure, when the market settles, there will be a downward reaction as this market is an over-reaction to some supply and demand economics.

Next week sees volumes rise to near 41,000 bales. AWTA Key Test Data September 2025 showed the progressive comparison of total weight tested for July 2025 to September 2025 is 16.1% lower compared with the same period last season.

今週の羊毛市場は続伸。新シーズンスタート以降の羊毛相場は総じて堅調展開を維持していたが、9月に入ってから更に上昇スピードが加速しており、直近5週のセールでの上昇率は実に25%を超えている。市場関係者の間では潜在的な供給懸念に対するオーバーリアクションが過ぎるとの見方も多いが、羊毛市場の80%以上の買付シェアを誇る中国勢が、想定以上の相場急騰に直面した事で、喫緊の原料確保に対する切迫感に抗えなくなった様子が窺てとれる。

内容的には、メリノ18.5ミクロン以上の細番手のスクイーズ状態が更にエスカレートし、19.5ミクロン以降の中番手メリノや雑種タイプがそれに追従する動きを見せている。一方で紡毛タイプに関してはまだ比較的值動きは限定されている。

実体経済を無視した大幅上昇に対し買い手サイドの高値警戒感が強まる一方で、生産者サイドの反応は、中番手〜太番手羊毛に感しては概ねポジティブに受け止められ、それが直近の出市量増加にも繋っている模様。但し細番手羊毛に関しては、特にイタリア向けの高スタイル&スペックのスーパーファインウールやサステナ認証系の生産者にとっては、番手や品質並びにサステナビリティ担保に対する価格プレミアムは、歴史的な価値観や、過去の相場上昇時のそれと比較してもまだ不十分であり、この先も細番手羊毛の上昇余力はまだかなり残されている筈との見方も多い。ただ現実問題として羊毛市場をほぼ独占している中国勢にとっては、おそらく価格を左右するのは利率的且つ物理的な需給バランスが全てで、それ以上でもそれ以下でもないというのが実情だろう。

来週のセールは、価格上昇を好感した駆け込み出市により、出市量が10%以上増加しているものの、依然として新毛との切り替え途上にあり、品質のパラつきが大きい内容となっている。通常10月の国慶節休み明けから中国勢の原料手当てが本格化しそれに併せて羊毛相場も上昇するパターンが多いが、今シーズンは1か月以上早いタイミングで上昇がスタートしているので、ピークアウトのタイミングも若干早まる可能性もありそうで、そろそろ相場も上げ疲れを警戒する時期に差し掛かっているのかもしれない。

他方、先般公表されたAWTAによる第一四半期の原毛テスト取得件数は、昨年同時期との比較で16%減少しているとの事。前シーズン末の時点での今シーズンの産毛予測は昨対8%減とされていたが、現実それを上回るペースで減少している事を物語っていると言える。この7〜9月の相場高騰があったとは言え、今現在飼育している羊頭数がいきなり増える事はないので、羊毛生産の減少傾向に歯止めがかかるにはもう少し長いスパンでの継続的な相場回復が必要。今回のような急激な相場変動は逆に反動リスクが警戒されるので生産面での影響は限定される公算が高い。

MICRON INDEX

〜18.5mic 続騰。USDベース:△8〜9%

19.5mic 続騰。USDベース:△7〜8%

20.5mic 続騰。USDベース:△6〜7%

22.0-23mic 続騰。USDベース:△6〜7%

24.5mic 続騰。USDベース:△6〜7%

XBD's 続騰。USDベース:△6〜7%

CARDINGS 堅調。USDベース:△〜1%

EMI on USD

US\$13.38

US\$12.28

US\$11.82

US\$11.70

US\$8.56

US\$4.82

US\$5.32

MAIN BUYERS/BALES

TECH-	6,656	EWE-	5,698	PJM-	4,120
AME-	2,427	MLW-	2,435	FOX-	2,070
SQA-	2,062	TYN-	1,879	UNT-	1,685
PLC-	833	MICH-	426	GSA-	98

NEXT SALES

WEEK 15 (7-8/OCT)

SYDNEY	11,417	BALES
MELBOURNE	22,107	BALES
FREMANTLE	7,380	BALES
TOTAL	40,904	BALES TO BE OFFERED

<Motohiro Sydney Office>

MICRON INDEX 2020-2025

